



LAZONA ラゾーナ 藤尾歴史散歩

藤尾学区まちづくり協議会 歴史文化部会



第19回 緑ヶ丘球場

高校野球の滋賀県の最初の球場と言える『緑ヶ丘球場』が藤尾にあったのを皆さんはご存知でしょうか。

夏の甲子園を目指す高校野球の地方大会は皇子山球場で開催されていますが、歴史を遡ると前身の全国中等学校優勝野球京津大会は、1915年(大正4年)第1回から第12回大会までは旧制3高(現・京都大学)の校庭などで開かれていました。そして1927年(昭和2年)の第13回大会から京阪電鉄が地元から借地して、スタンドやダッグアウトなどがついた本格的な球場として藤尾に建設した『緑ヶ丘球場』で開催されたのです。



● 第16回京津大会決勝(平安中 20-2 膳所中)のあと場内を行進する選手ら

場所は藤尾支所の西側の市民運動広場付近で、施設面積は2万3千平方メートルあったとされています。一塁側には木で組んだ7段くらいの観客席、三塁側には土手があり、1927年7月24日付の朝日新聞京都滋賀版には「球場は新緑したたる象ヶ鼻山麓に位置する理想の球場で・・・、一塁および三塁側には日光を覆う設備があり、球場は涼風吹いて暑さ知らずである」と記されています。

「高校野球」——京滋ではじめての緑豊かな本格的球場——



● たくさんの人でにぎわった緑ヶ丘球場

大会期間中は、京阪電車京津線の四宮～追分間に「緑ヶ丘運動場前仮停留所」が設けられてたくさんの人で賑わい、多い時には2万人が訪れてカネや太鼓の応援があったと伝えられています。

全国中等学校優勝野球大会の京津大会は、1932年(昭和7年)に完成した京都の西京極球場に会場が移されて、緑ヶ丘球場は同大会の滋賀予選で使用されましたが、戦時色の強くなった1942年(昭和17年)頃に食料増産のための芋畑に転用されて姿を消しました。戦後に、球場跡地は住宅地として開発整備され、市民運動広場も一時は国鉄(現 JR)の官舎が立ち並んでいました。



● 緑ヶ丘球場位置図

(文・松井佐彦 写真提供・海老池博司)

バックナンバーご希望はコミュニティセンターまで

